



新年を迎えて

明けましておめでとうございます。保護者の皆さま、地域の皆さまにおかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年も保護者の皆様、地域の皆様のご支援をいただきながら、本校の教育活動の一層の充実に努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

生徒の皆さんは14日間の冬休みで様々な体験をしたと思います。

私は、福島県会津地方にある猪苗代湖を訪れました。磐梯山は雪化粧で真っ白でした。この日も雪が降り強い風で凍える寒さでした。目的地は、猪苗代湖畔にある「野口英世記念館」です。私が小学校の頃、学校の図書室で読んだ記憶のある伝記、あの有名な野口英世さんの生まれた故郷です。藁葺き屋根の生家がそのまま保存され、数々の功績をたたえた資料館となっています。



「ここが、野口英世が生まれた家なのか・・・」（夢の世界にいるような感覚でした）

野口英世は、明治・大正・昭和時代初期に活躍しました。人類のために未知の病気とたたかい続け、日本が生んだ世界の医学者です。千円札の肖像画にもなっている人なので、皆さんもよく知っていると思います。野口清作（初めの名は清作。21歳の時に英世に改名）は、1歳半の時、家の囲炉裏に落ちて、左手に大やけどを負いました。とても貧しい農家で手術することもできず、左手の指が全部くっついてしまったままのハンディを背負って生きていました。小学校の頃、左手のやけどを「手ん棒、貧乏」とからかわれ、ひどくいじめられたこともあったようです。清作にやけどを負わせてしまった母のシカは、これを心の重荷とし、清作もハンディに押しつぶされそうになることもしばしばあったそうです。しかし、農業のできない身体ですが、勉強に専心させる母の強い大きな愛情が清作少年を目ざめさせ、寝る間を惜しんで勉強に励みました。このようにたいへん努力し、秀才ぶりを発揮するようになりました。

そんな頑張る野口少年を見て、学校の先生の援助もあり、左手の手術を16歳で手術する機会に恵まれました。そして、恩師や様々な人の援助を受けながら独学で医師の道を目指しました。その後、並々ならぬ勉強をし、医師の免許を取り、単身でアメリカ、ヨーロッパ、中南米、アフリカなどにわたり、医学の研究や治療にあたりました。蛇毒、トラホーム、梅毒、小児マヒ、狂犬病、ワイル氏病、オロヤ熱、黄熱病などの研究を行い偉大な生涯と業績を残しました。「野口は、眠ることがあるのか」と言われたほど、普通の研究者の何倍もの研究業績を残すことができました。どんな苦難があっても、自分の目ざした仕事に対して、決して絶望しませんでした。じっと苦悩に耐え忍びながら道を開いていきました。51歳の時にアフリカのガーナで、黄熱病の研究をしました。しかし、自らが黄熱病のために死亡しました。

よく野口英世は負けず嫌いな少年であったと言われていています。たとえ失敗しても、志をすてず、より大きな目標に向かって努力していったのです。なによりも自分自身のくじける心に負けなかったといえるでしょう。野口英世は、そういう努力によって、自分の才能を開発し、自らの仕事を切り開いていたのでしょう。生家の石碑には「忍耐」という二文字が刻まれています。

また、野口英世の人生を振り返ると、たくさんの人と出会い支援してもらっています。だれの人生にも、進路を左右するようにつよいアクセント、つまり竹の節のような結節点があります。たとえば、入学・卒業・就職・・・といった具合です。それをめぐって、さまざまな人とめぐり会ったり、別れたりしていくわけです。もちろん、野口英世が人の何倍も努力した姿を見て様々な人が支えてくれたと思います。私たちも先生や友だち・地域の方々との「出会い」を大切にしましょう。

これからまだまだ寒い日が続きます。この寒い冬に怠けていると成長できません。地道な努力を続けることが大切です。そして耐えて信じることです。希望や努力を継続する力となり、種が成長すれば、いずれ開花し実をむすび、新たな種を作り出します。上へ上へと花を咲かせるために、下へ下へと根を伸ばしていきましょう。3学期も自分の目標を持ち、くじけずに努力を続けてほしいと思います。

今年も教職員が力を合わせて「明るく元気で楽しい」田柄中学校をつくってまいります。保護者の皆さま、地域の皆さま、どうぞ変わらぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

生徒・部活動の記録

(敬称略)

<p>練馬区 児童生徒表彰</p>	<p>平成29年度に練馬区小・中学校で文化・スポーツ部門において、優秀な成績を収めた児童・生徒が表彰されました。 2年生 濱中 翔 野球で優秀な成績 2年生 十鳥 真乙 野球で優秀な成績 2年生 竹葉 智子 水泳で優秀な成績 3年生 宮澤 まこ 水泳で優秀な成績</p>	
<p>硬式テニス部 女子</p>	<p>東京都中学校テニス第3ブロック新進大会 第2位 高木 杏菜・近藤 彩寧 ペア 第5位 大西 菜央・浅田 奈実 ペア</p>	
<p>ソフトテニス部</p>	<p>練馬区学年別大会 第2学年女子の部 第2位 松浦 玲菜・今田 莉々佳 ペア 第3位 清水 二葉・加藤 春佳 ペア</p>	
<p>バスケット ボール部</p>	<p>バスケットボール光が丘杯にて優秀選手賞を受賞 男子 井上 弘士朗 女子 鳥飼 光涼</p>	

お正月の全国高校サッカー選手権をテレビで観戦しましたか。インターハイを制し、夏の王者として臨んだ流通経済大柏高校のキャプテン（背番号4）宮本優太選手は、田柄中学校の卒業生です。前橋育英高校に惜敗して準優勝でしたが、田柄中学校の先輩がキャプテンマークを付けて大舞台上でプレーしている姿は、在校生の大きな励みとなりました。宮本優太選手 感動をありがとう！
 この文は、中学校3年間、学級担任の堀内先生にあてた手紙の一部です。

キャプテンをやってきて、最後の年です。
 辛いことや嫌なことも、いっぱいありました。
 自分は怪我があったため、プロにはなれませんでした。
 ですが、大学からでも可能性はあるので、また次の目標が決まりました。
 大学卒業時にプロサッカー選手になる！！
 ぜひ中学生に伝えたいことは、夢があるから頑張れるのだと！
 簡単な夢を達成しても つまらない！
 必ず大きな夢も叶えられるから最後まであきらめずに！
 がんばってほしいということです。



宮本くん 堀内先生



<宮本優太くんのエピソード>
 体育委員としてクラスをまとめ、運動会では1500mなどで大活躍しました。
 運動が苦手な友だちにも、いつも笑顔で声かけをしてくれた優しい生徒でした。

(堀内先生より)

宮本 優太選手

感動をありがとう